



学校評価の結果について

今年度も保護者アンケート、児童アンケート、教職員における自己評価を実施し、全教職員で課題を共通し、改善策を検討しました。

その後、今後の方向性が妥当であるか、学校関係者評価委員の皆様にご評価いただき、今後の学校運営改善のための指針とさせていただきます。

つきましては、今年度の学校評価について、各種アンケートの結果及び、今後の取組についてお伝えいたします。保護者の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

1 アンケートの結果

No	質 問 項 目		評 価		
			教職員	保護者	児童
1	学力向上に関する事	学校では、各教科で基礎学力の向上を目指した教育活動がなされていると思いますか。	学力向上 2.9 -0.1 授業力 2.9 -0.2 学習規律 2.8 -0.2	3.3 ±0	3.6 +0.1
2	基本的な生活習慣に関する事	学校は、あいさつや言葉遣いなどを身に付ける指導を大切にしていると思いますか。	2.5 -0.5	3.2 ±0	3.5 ±0
3	いじめや不登校に関する事	学校は、いじめや不登校、問題行動をなくすための適切な指導を行っていると思いますか。	いじめ 3.4 -0.1 不登校 2.6 -0.5	3.0 -0.1	3.5 -0.2
4	情報発信に関する事	学校便りや学年通信、各種プリントなどで学校からの情報を積極的に発信されていると思いますか。	3.0 -0.1	3.4 ±0	3.5 +0.1
5	危機管理に関する事	学校は、子供たちの安心・安全な生活について気を配っていると思いますか。	安全教育 3.3 ±0 危機管理 3.2 -0.2	3.2 -0.1	3.8 ±0
6	きまりに関する事	お子さんは、日新小のきまりをしっかり守って生活していると思いますか。	学習規律 2.8 -0.2 生活規律 2.8 -0.2	3.3 +0.1	3.5 +0.1
7	健康、体力向上に関する事	学校は、子供たちの健康や体力の向上のための活動に取り組んでいると思いますか。	3.1 -0.2	3.3 +0.1	3.5 +0.1
8	家庭との連携に関する事	学校は、子供の学習や生活、心身の健康などについて家庭に連絡したり、気軽に相談に乗ったりしていると思いますか。		3.1 -0.1	3.1 -0.1
9	生活リズムに関する事	お子さんは、十分な睡眠時間がとれるような生活リズムが身に付いていますか。	3.0 +0.4	3.2 ±0	3.1 -0.1
10	学習習慣に関する事	お子さんは、毎日決まった時間（学年×10分以上）、家庭学習や宿題に取り組み、家庭での学習習慣が身に付いていますか。	2.8 +0.2	2.9 -0.1	3.0 ±0

＋－：昨年度比

2 保護者アンケートの記述とアンケート結果等からの改善の方向性

(1) 学力向上に関すること

○保護者アンケート記述

- ・共働きでいろいろな体験をさせてあげられないので、自然体験などの学習を強化していただきたいと考えます。
- ・王子製紙の見学やキッコーマンの見学体験をさせてあげてほしいです。
- ・勉強をもう少し頑張ってもらいたい。
- ・今年度から、イベント企画や外部講師を招くなど、今までとは違う学習活動が増え、子どもも毎日楽しそうに学校へ通っています。日頃から楽しく学べる授業を工夫してくださっている先生方、PTA 活動に関わってくださっている皆様に感謝しています。これからも、学校外の力もたくさん活用しながら、活気のある学校作りを続けていただけたら嬉しいです。
- ・教えられたことについて、ただ覚えるのではなく、なぜ、どうしてと考える力を育むような教育

○改善の方向性

- ・各種調査や検査の結果から、基礎基本の定着に課題（特に算数科）が見られます。現在取り組んでいる朝学習でのタブレットの活用や給食前等の隙間時間の有効利用、基礎学力調査による課題把握等の内容をより工夫し、基礎基本の定着を図っていきます。
- ・習熟度別少人数指導や TT 指導を次年度も実施し、学習内容を確実に身に付けられるよう取組を進めていきます。
- ・児童が意欲をもって、自ら学習に取り組むことができるように研修部を中心に授業改善を図っていきます。
- ・学校全体で学習規律についても粘り強く指導を続けていきます。

(2) 挨拶・言葉遣いに関すること

○保護者アンケート記述

- ・挨拶をもっと指導した方がよい。(すれ違っても挨拶をしない子が多い。横断歩道に立ってくれている人にも挨拶しない子が多い。) 通学路をもっと指導した方がよい。(通学路を守っている子が少ない。ぜんぜん違う通学路から行ってる。通学路を守っていると、仲間外れにされる。) 挨拶と通学路の事・・・しらかば町のあすなろ公園周辺の出来事。

○改善の方向性

- ・児童の挨拶や返事、時間を守る意識等に課題が見られます。学校全体において粘り強く指導を継続していくとともに、児童会活動による児童が主体となった取組や、粘り強い指導を続け、改善に努めていきます。また、保護者の皆様におかれましても各家庭にて基本的生活習慣の確立に向けたご協力をお願いいたします。

(3) いじめ・不登校に関すること

○保護者アンケート記述

- ・他者にたいしての言動など（SNS 含め） 自分がいじりと思っけていてもイジメになること。保護者にも家庭での指導・SNS のチェックなどしっかり取り組むように学校からも発信してほしいです。
- ・いじめが起きないように力をいれてほしい
- ・不登校の子が多い。先生の言葉で嫌な思いをしたと聞いたことがある。先生の教育をしっかりしていただきたい。
- ・先生から子どもたちへの接し方を見直し、学校に行きたくない子どもたちへのフォロー、クラスでのトラブルフォローをもう少ししっかりしてほしい。

○改善の方向性

- ・いじめについては、年 2 回のアンケート調査のほか、日頃から児童の様子に注意深く目を配り、未然防止に努めました。事後対応についても、初期対応をできる限り迅速に行い適切な対応を心がけてきました。今後も組織的かつ丁寧な取組を進めていきます。
- ・SNS の適切な利用について児童と保護者を対象に、参観日に通信会社から外部講師を招いて「情報モラル教室」を実施するなど啓発的取組を実施しました。また、原則として「スマホを持たせている保護者が子供の使用に対して責任をもつ」ことを指導部便り等でも周知していきます。今後もこれらの取組を継続、充実していきます
- ・不登校は、要因や実態等、個々のケースにより多様な対応が求められます。学校では年 10 回の不登校対策委員会の開催のほか、担任、指導部長、不登校対策支援員、養護教諭、管理職が日常的に実態把握や対策について話し合い、関係機関とも連携して取組を進めています。今後も保護者との連携を大切にしながら、組織的な取組を進めていきます。また、発達支持的生徒指導を基盤とした学級経営の充実や授業改善を通し、未然防止に努めます。

※発達支持的生徒指導：日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通した個と集団への働きかけを通して、児童生徒自身が、自発的・主体的に自らを成長・発達させる過程を支える生徒指導の在り方

(4) 情報発信に関すること

○保護者アンケート記述

- ・クラスのお便りがないので、普段の様子がわからないためできればたまに、出していただけたらと思います。
- ・学級だよりの話になるが、連絡漏れが無い様にしてほしい。子どもからの話しだけでは必要な持ちものが正確にわからないのでプリントで配布をお願いします。

○改善の方向性

- ・学校便り、学年通信、学級通信等を通して、児童の様子や連絡事項が伝えられるよう工夫を凝らしてきました。学級通信については、発行や頻度は担任裁量によるものになるため、全体としてそろえるのは難しいところですが、あり方について議論を進めていきます。次年度もできる限り子どもたちの活動の様子を伝えていけるよう工夫を凝らしていきます。また、連絡漏れにも気を付けていきます。

(5) 安全確保に関すること

○保護者アンケート記述

- ・特になし

○改善の方向性

- ・登下校及び校内、校区内での安全指導については、街頭指導や校区内巡回等の取組を計画的に行ってきました。次年度も児童の事故・ケガの未然防止に努めるとともに、緊急時の対応も不測の事態を予測し訓練を行うなど、準備を整えていきます。

(6) きまりに関すること

○保護者アンケート

- ・ゴミのポイ捨てについてのお話しをしてもらえたらいいなと思っています。

○改善の方向性

- ・学校生活および登下校時や放課後等の過ごし方について、今後も日常的な指導を継続していきます。
- ・次年度も「そろえる活動」の意図を全職員で共通理解し、適宜改善を加えながら、取組を進めていきます。

(7) 健康、体力向上に関すること

○保護者アンケート

- ・プールやスケートの授業の回数が少なすぎて身につかないと思うので、もう少し増やしてほしいです。
- ・運動会で6年生だけで良いので全員リレーがみたい。(障害物競走等は不要で普通のリレー)
5.6年生だけでも選抜リレーは難しいのか、運動会にもう少し力を入れて欲しい。運動会の徒競走のピストルをもう少し余裕を持ってあげてほしい。「位置についてよーい、ドン」の位置によーいからのドンが早すぎて、生徒が反応出来ていなく見えて可哀想だった。時間に追われて早く終わらせたい感じが伝わってきてあまり良くないと思う。
- ・体力をつける運動 たとえばマラソン大会など
- ・運動面も、強化してほしいです。マラソン大会が無理なのであれば、マラソン習慣のようなのも続けてほしいです。

○改善の方向性

- ・計画的に縄跳びや持久走の取組を行い、児童の体力づくりに取り組みました。また、グラウンドにドッジボールコートとサッカーゴールを常設し、運動機会増加に向けての取組を行いました。プールやスケートの回数は割り当てが決まっているので、回数を増やすことは難しいです。
- ・マラソン大会は令和2年度に行事の精選や学校指導要領の改訂に伴う体育科の指導内容の見直しから実施しないことを決めています。
- ・選抜リレーは練習時間の確保等が難しいのが実情です。学年競技につきましては、例年、実態に合わせて競技内容を考えています。リレーも選択肢の一つではあります。
- ・徒競走のピストルについては、時間短縮の意図はなく、特に低学年におけるフライング防止への配慮から、「よーい」と「ドン」の間隔を短くしています。ご理解いただきたく存じます。

（８）相談体制に関すること

○保護者アンケート記述

- ・担任の先生には、子どもが困った時に相談しやすいような関係作りに力を入れて欲しいと思います。何か訴えても怒られるのではとか、個別の話をみんなの前で共有されてしまうのではと思ってしまって、本音を話せないことを子どもは悩んでいます。
- ・もっと先生と保護者の交流をもてる場があればいいのと思う。どんないいことをしていたとしても保護者には届かないし、逆に何か問題があっても先生と保護者は一緒に解決していただけるのか不安。

○改善の方向性

- ・教職員だけではなく、スクールカウンセラーや苫小牧市子ども相談課、SSW などの専門家や関係機関と連携し、相談体制を整えてきました。（今年度のスクールカウンセラー活用件数は 16 件）次年度も各家庭の相談を受けられるよう、体制を整えていきます。
- ・児童に寄り添う発達支持的生徒指導を進められるよう、校内での共通理解を進めます。
- ・保護者と教員の交流については個人面談や学級懇談の機会をご活用ください。また、随時相談等にも対応しております。

（９）生活リズムに関すること

○保護者アンケート記述

- ・なし

○改善の方向性

- ・健康指導については学級での指導はもとより、保健便り等で定期的に呼びかけていますが、規則正しい生活リズムで毎日の生活を送っていない児童が多くみられます。決まった時間に睡眠をとり、朝ご飯をきちんと食べたかどうかを５日間チェックする「元気アップ」の取組では、すべての項目を達成できた児童は、全体で約 20% でした。今後も「元気アップ」の取組を続けるとともに、お便り等で規則正しい生活リズムの重要性について啓発を行っていきます。

（１０）学習習慣に関すること

○保護者アンケート

- ・相談ですが タブレット学習 20 時までとなっていますが 児童クラブに 18 時 30 分お迎え 買い物などがある場合、帰宅が 7 時すぎの為 ご飯を食べてからタブレットに取り掛かる時間がなく困っています。
- ・家庭学習や宿題の取り組み方、学習習慣についてクラスで話し合い等行ってほしいです。やらなくても大丈夫、何とも思わないと思わせないようにクラスでの話し合い等行ってほしいと思います。
- ・家庭学習の取り組みをきちんとしてほしい。たとえば、習い事があるから家庭学習をしない、進研ゼミをやってるから家庭学習のかわりになってるなど、普通に習い事があっても、自分で問題を書き家庭学習をしてる子もいるのに不平等だと思う。特に高学年は、ノートに書くことが大事だと思います。もし、忘れた子がいたら休み時間にやったり、やらないと休み時間がなくなるなどしないとやらない子は、やらないと思う。結果的に、誰がやってないから

自分もやらないっていう風に広まったりすると思います。小学生のうちは、正しいことやるのが当たり前で、やらない子がダメという風になっていてほしいです。

- ・うち学(家庭学習)は強制なのでしょうか？ 学習習慣はついて欲しいので基本的には取り組みに賛成ですが、家庭によって色々な事情がある事を考慮していただきたいです。以前、習い事の遠征合宿や大会で週末勉強の時間が取れず親の判断でうち学をやりませんでした。先生にもその旨をお伝えしましたが、提出出来なかった日の休み時間にうち学分の勉強をさせられたとの事です。クラスごと、学年ごとの方針ではなく学校としての考えを示して欲しいです。
- ・週に一回の絵日記は どこかに必ずお出掛けしないといけないと感じ、親としてはプレッシャーになります。

○改善の方向性

- ・タブレットの使用時刻については、苫小牧市教育委員会に確認し、e ライブラリは 22 時まで使えることがわかりました。2 月の学校便りにも記載しております。
- ・家庭学習の取組調査では、目標時間に到達している児童の割合が約 41 % と低い状況にあります。児童への意欲喚起とともに、家庭への啓発を継続していきます。
- ・学習習慣を身につけることを目的として、家庭学習や宿題の取組を行っていますが、各家庭における家庭学習への考え方も多様化しており、学校として全学級でそろえる事項について現在検討を進めています。決定した内容を新年度にお知らせします。

(11) その他

○保護者アンケート

【給食について】

- ・毎日楽しく学校に通わせていただいております。ありがとうございます。 力を入れて欲しいことではありませんが、学校給食のアレルギー対応をもう少しやりやすい方法がないかの検討はしていただきたいです。二重チェックをしていただいていることに感謝はしていますが先生の負担も大きいですし正確且つ安全な方法を苫小牧市が考えくるとより良いかと思います。
- ・給食のおかずが少なくてびっくりしました。学年に応じた量というよりも、特に高学年は個人に適切な量が必要だと思いました。

【学習について】

- ・障害をもっている子との交流会があればいいなと思います。いろんな子がいるということを知り、体験し、偏見や差別しない大人になってもらいたいです。
- ・2 年生の夏休みの宿題に読書感想文があったが、授業で流す程度の授業内容で感想文の書きかたが理解できる年齢ではないと思うので、 作文や読書感想文等の書きかたなどをしっかり授業で教えてから、宿題等にするべき。 授業でしっかり教えられないなら宿題にすべきではない。 未だに(生理についての授業)をするときは男女別々にされていると聞いたのですが、なぜですか？ 女子児童が(生理)の授業をしているときは男子児童はどうされているのですか？ 性(生)について学ぶのはとても(もっとも)大事な事だと思うので、学校で学んだ事を家庭にも共有出来たら家庭でも子供に教えられる事があると思うので知らせて欲しいです。

【行事について】

- ・ここに書いていいのかわかりませんが、気になりましたので記入させていただきます。学習発表会での業者さんによる写真撮影が、予告がなく児童公開日に撮影されており、マスクをつけたままの子や同じ角度からの撮影が多く人の影に隠れて1枚も写っていない子がいたりした

ため、もう少し配慮ある撮影であれば良かったと思いました。

【送迎について】

- ・学習発表会の後、子供たちの下校時間に合わせて幼稚園の方からお迎えに来る車が来ていて、グラウンドから出る時に鉢合わせになる。(もっと一方通行なのを認識してもらいたい。子供たちにも危ない。)
- ・朝の時間の見送る車が子供の通学に危ないと感じました。 見ていない方もいて急に勢いででてきたりなど、気をつけていても何度かありました。 よほどのことがない限り子供達を歩かせて登校などの習慣をつけさせてもらえればとおもいました。 朝の車の多さに正直驚きます。

【その他】

- ・1年生からでも傘を使えるようにしていただきたいです。
- ・話を先生同士で共有してほしい。(連携がとれてない)

○改善の方向性

- ・給食対するご意見は、給食センターにお伝えいたします。
- ・特別支援学級と通常学級間では、交流学习等を通して日常的に交流の機会を設けており、今後も継続していきます。
- ・読書感想文については授業で指導したのちに課題として出しています。
- ・性教育は、年間指導計画に沿って計画的に実施しております。生理についても保健の授業で男女一緒に学習しています。宿泊学習前のトイレの使い方の指導については、実際に女子トイレを使うので女子だけを対象にした指導を行っています。次年度も計画に沿った指導を行っています。
- ・学習発表会の撮影については、本来6年生の卒業アルバム用の撮影で児童公開日に来ていましたが、今年度より業者の要望で他学年も撮影し販売する運びとなりました。保護者の皆様へのお知らせが足りていませんでしたので、今後は丁寧な周知をしていきます。
- ・車で送迎について、安全への配慮やルール周知を継続していきます。
- ・傘の使用は安全面を考慮し今後も3年生以上からとします。
- ・情報の共有につきましては、教職員間での連携に努めているところです。今後は一層の情報共有等を心がけていきます。